

広谷小学校の教育

令和4年4月

基本理念

公教育の使命を自覚した教職員の組織力によって、常に子どもを教育の中心にすえ、一人一人の実態にあった指導内容や方法の改善に努め、保護者や地域社会の負託に応える。

校訓

「強く 正しく 美しく」

学校教育目標

ふるさとを愛し 自ら学び 未来に挑戦する 広谷っ子の育成

～明日もまた行きたいと心待ちにする学校～

<めざす子ども像>

- 「強く」
ねばり強く主体的に実践する児童
 - ・活力ある行動力の育成
 - ・健やかな身体づくり
 - ・地域貢献の実践
- 「正しく」
自ら学び個性を伸ばす児童
 - ・主体的な学びと確かな学力の向上
 - ・豊かな表現力の育成
 - ・地域文化の学びと継承
- 「美しく」
こころ豊かで思いやりのある児童
 - ・人権尊重と慎独の精神の育成
 - ・道徳的実践力の習得
 - ・郷土愛の育成

<めざす学校像>

- 温かさや活気に満ちた学校
 - ・自尊感情の育成
 - ・明るいあいさつ
 - ・温かい人間関係の構築
- 学ぶ喜びにあふれる学校
 - ・主体的、対話的で深い学びの推進
 - ・多様な学びの実施
 - ・個に応じた指導の充実
- 信頼され、安心・安全な学校
 - ・危機管理体制の充実
 - ・保護者、地域との連携の強化
 - ・相談体制の充実(児童・保護者・学校)

<めざす教職員像>

- 信頼される教職員
 - ・高い使命感、倫理観、授業力
 - ・誠実かつ迅速な行動
 - ・児童への共感的理解
- 教育愛に燃える教職員
 - ・学び続ける教職員
 - ・高めあい協働する教職員
 - ・師弟(子)同行：児童と向き合い、共に汗を流し共に歩む教職員
- 研修に励む教師
 - ・プロとしての資質能力を高める教職員
 - ・指導力を高める教職員

推進の重点目標と具体的な取組

1 人権尊重の精神の涵養と「豊かな心」の育成

- ①命の尊厳や人権尊重の精神、規範意識を高める教育の推進
- ②安心して学び、高め合える学級づくり
- ③「ののくさ賞」「きら星」の取組など、認められている、活躍の場があるなどの有用感の醸成による自尊感情の高揚
- ④いじめなど、不合理に気づき、解決しようとする児童の育成
- ⑤異年齢集団活動、学級活動、児童会活動等、人と人のつながりを深める活動の充実

2 情報教育（ICT教育）の推進

- ①一人1台のタブレット環境を生かす教育活動の深化
 - ・思考、表現、コミュニケーションのツールとしての活用
 - ・さまざまな授業場面での活用について研究
- ②教員のスキルの向上（授業での活用、仕事のICT化）
- ③タブレットやオンラインの活用の推進

3 自立して未来に挑戦する態度の育成

- ①やぶ・ふるさとキャリア教育の推進
- ②環境体験学習、氷ノ山登山、自然学校等の体験教育の充実
- ③「そうあんくんの日」の推進
- ④外国語活動や伝統・文化に関する教育の推進

4 「確かな学力」と主体的に学ぶ態度の育成

- ①「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業の創造
- ②学び合いを大切に、共に伸びようとする態度を育成
- ③授業規律の徹底（姿勢・態度・文字・整理整頓）
- ④朝読書、チャレンジタイムの継続・充実
- ⑤自分で立てた目標の冊数の本を読破する取組

5 たくましく「健やかな体」の育成

- ①体育科授業を中心とした体力・運動技能の向上
- ②休憩時間の遊びを通して運動に親しむ習慣づくり
- ③睡眠指導、食育など、心と体の健康を推進する教育の充実
- ⑤安全・安心な学習環境の整備、自分の命を守る訓練の実施

6 特別支援教育の充実

- ①校内委員会開催による指導方針の共通理解、共通実践
- ②個別の支援計画、個別の指導計画に基づく着実な指導
- ③合理的配慮の適切な提供
- ④通級指導教室の適切な実施

7 生徒指導の充実

- ①児童との人間的なふれあいを通し心の絆を深める生徒指導
- ②挨拶や集会活動、全校音楽等、全校生が心をつなげる経験
- ③生活アンケート、いじめアンケート等を活用した児童の内面理解
生活指導委員会の定期開催
いじめ・不登校等の未然防止と早期発見・早期対応の推進
- ④スマホやゲーム等メディア使用についてのルール指導の徹底

8 幼小連携、小中一貫教育の推進

- ①養父中、養父小、建屋小と教育目標及び児童生徒像の共有化、9年間の学びの連続性を意識した小中一貫教育の推進

- ②広谷こども園との連携による児童のスムーズな就学の推進

9 家庭・地域との連携

- ①学校運営協議会を中心としたコミュニティスクールの推進と地域人材を活用した教育活動の展開
- ②家庭・地域の協力による登下校時の見守り活動の推進
- ③第2・第4水曜日の「そうあんくんの日」の推進
- ④オープンスクールの実施、学級・学校通信の発行、ホームページの更新等による教育活動の発信
- ⑤PTA、読み聞かせグループ、防犯グループ等との連携

10 教職員の資質向上

- ①日々の研鑽による資質と実践的指導力の向上
- ②「チーム広谷」を意識した、相互信頼と協働の職場づくり
- ③教育公務員としての自覚と高い倫理観の保持、「No!体罰」の徹底、児童と心の通い合う温かい人間関係の構築
- ④メンタルヘルスの保持・増進と、勤務時間の適正化の推進

指導指針の「校訓」について

○広谷小学校「校訓」起草について

本校は今年、創立（明治6年）から149年目を迎えています。長い歴史を持ちながらも「校訓」がありませんでしたが、平成24年の統合時に広谷小学校の発展を祈念して「校訓」が創られました。

○校訓「強く 正しく 美しく」

「強く」「正しく」は、校歌の中で「とこ代の松」と「ときわの松」に示された徳目であり、創立百周年記念の石碑に刻まれた「強く 正しく のびよ はばたけ 広谷っ子」です。

そして、「美しく」は、浅野小学校の「桜並木の由来」にまつわる美談と地域で育ててきた親切で優しい心を引き継いでいきたいとの願いから掲げられました。

強く

強さには、身体だけでなく精神的な強さも必要です。人が生きていくには、数々の苦難、蹉跌を越えなければなりません。したがって、強健や剛健、頑健と表現されるくらいに、心も体もたくましく、夢や希望、大志（大きな目標）を抱いて生きていくことが大事です。

正しく

物事には、原理・原則とか基礎・基本となるものがあります。きちんと身につけなければ正しく進むことができません。進歩もありません。考える拠り所となる知識がないと、筋道立てて考えることもできないばかりか、正しく判断することもできません。不正なことをして結果（利益）を得ても、長続きはしません。本当の幸せにもつながりません。姿勢（気持ち）を正し、正しく行動していくことは常に大切なことです。

美しく

美しさとは何でしょう。見た目（身なりや髪形が整っているなど）も大事ですが、見えない部分も大事です。人としての美しさ、真の美しさを感じさせるのは、むしろ見えない部分（心）ではないでしょうか。では、美しい心とはどんな心でしょう。美しい心に対する思いは人それぞれですが、思いやりや感謝の心、奉仕や互譲、自他共栄の精神、自然愛護、家族愛、郷土愛、愛校心、慈愛といった心などは美しい心と言えるのではないのでしょうか。

強くなくては生きていけません。しかし、強いだけではいけません。正しくなくては。そして、美しくなくては。

平成24年5月 第35代校長 福井 陳訓

○「ののくさの賞」について

作者は坂本 勝氏で、昭和29年から37年まで兵庫県知事を務められました。本校の教育活動の中から、子どもたちの「がんばり」を顕彰していく一つの取り組みとして創設しています。勉強だけでなく、掃除やあいさつ等の生活にも、校訓が示す「強く 正しく 美しく」に合った「がんばり」を全職員で見つけていこうと考えています。

ののくさよ ゆきにも
かぜにも まけないで
つよいな えらいな
ひろたにつこ
ぼくら わたしら
むねをはり まゆあげて
がんばろう
ね がんばろう
昭和40年 春 坂本 勝